

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)八尾CK新工場新築工事	階数	地上5F
建設地	大阪府八尾市上尾町	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,120 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2022年8月22日
敷地面積	2,977 m <sup>2</sup>	作成者	寺川幸子
建築面積	1,500 m <sup>2</sup>	確認日	2022年8月22日
延床面積	5,736 m <sup>2</sup>	確認者	定森淳一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 89%

③上記+②以外の 89%

④上記+ 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	2.5
温熱環境	2.0
光・視環境	2.9
空気質環境	4.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	2.9
耐用性	3.2
対応性	4.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.9
効率的	2.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

水資源	3.4
非再生材料の	3.7
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.4
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐用性、更新性を中心にサービス性能の向上に努めた</li> <li>・資源・マテリアルの確保に努めた</li> </ul>		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学汚染物質による空気質汚染を回避する対策が取られている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天井高さを十分に保ち、充実したリフレッシュスペースを設けるなど、快適性を高めた計画・階高、空間の形状、積載荷重にゆとりのある計画をし、将来の用途変更可能性を考慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中低木、被地植物等により敷地内緑化に努めている</li> </ul>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>・断熱性の高い材の採用と高効率設備の導入により、環境負荷低減に配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル材や解体時の分別が容易な工法の採用により、非再生性資源使用量削減に取り組んだ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車駐輪施設を確保し、交通負荷抑制に努めた・光害抑制に取り組み、敷地外環境へ配慮</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-変-0014

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)八尾CK新工場新築工事							
	建設地	大阪府八尾市上尾町							
	用途/区分	工場 事務所							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			<b>B+</b>					
①	CO2削減			<b>3</b>					
②	みどり・ヒート アイランド対策			<b>3</b>					
③	建物の断熱性			<b>5</b>					
④	エネルギー削減			<b>3</b>					
⑤	自然エネルギー直接利用			<b>—</b>					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

## エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	<b>3.4</b>	<b>3</b>
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	<b>2.0</b>	<b>3</b>
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	<b>3.0</b>	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	<b>3.0</b>	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	<b>5.0</b>	<b>5</b>
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	<b>2.9</b>	<b>3</b>
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	<b>3.0</b>	<b>—</b>
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		